



学校名	三郷市立北中学校
所在地	三郷市泉 2 6 7 - 1
電 話	0 4 8 - 9 5 2 - 5 2 8 1

1 本校の概要

昭和 37 年開校の本校は、学級数 13、全校生徒 466 名の中規模校である。特色ある取組「あじさい運動～5つの一番～」を提唱し、生徒一人一人が社会的な資質や能力、態度を身に付け、規範意識を醸成するための環境づくりに努めている。本校は、校長が示す教育の要諦「5つのきょう育」（郷育・協育・響育・競育・強育）を受け、読書活動を豊かな心を育成する「響育」と捉え、取り組んでいる。また、「日本一の読書のまち三郷」の市民にふさわしい読書好きの子どもたちを育てられるよう、読書活動の推進に力を入れている。



2 本校の実践

(1) 実践の視点

一生徒が主体的に読書に親しみ、
読書を楽しむ環境づくり

(2) 実践の概要

読書活動を通して、生徒の想像力や思いやり等の豊かな心を育むために、取組の工夫を行っている。また、生徒が期待と夢を膨らませて訪れ、多くの本と出会えるような魅力ある図書館を目指し、環境整備に努めている。

ア. 主体性のある読書活動の推進

・全校朝読書

朝の会前の 10 分間、「みんなでやる、毎日やる、好きな本を読む」を原則に全校で取り組んでいる。朝読書率は 100% である。

・「北中家庭読書の日」「北中読書週間」の取組

11 月 23 日を「北中家庭読書の日」、前後 2 週間を「北中読書週間」とし、学級毎に司書や教師による読み聞かせやブック・トークを行っている。

・読書記録カードの活用

生徒一人一人が目標や意欲をもって読書ができるように、読書記録カードを全校生徒に配布し、活用している。片面には、「三郷

市お薦めの本」の一覧が印刷されている。

・図書委員会の組織を生かした読書活動

図書の貸出・返却、学級文庫の選書、放送による本の紹介、一言感想カードや本の紹介ポップ等の掲示物作成、市読書フェスティバルでの発表等を行っている。



イ. 学習センターとしての図書館活用

・授業での活用

各教科で図書館を積極的に活用している。

・資料の充実

教科書掲載本や関連本を揃え、時期によってテーマ展示を行っている。

・司書や図書館担当によるレファレンス

ウ. 読書環境の整備

・「よもっとひろば」の設置

共有スペース。生徒から名前を募集し、「本を読(よ)もっと。」「本をもっと読もう。」という意味で名付けられた。

・「Book Street」の設置

図書館の廊下に棚があり、いつでも本に親しめるように、たくさんの本が並べてある。

エ. 家庭・地域との連携

・「家読ゆうびん」の取組…全校での取組。

・夏休みの保護者への図書館開放



3 今後の課題

本校では、研究テーマに沿って読書活動の充実を図っている。全校家読ゆうびんの取組、読み聞かせやブック・トーク、「よもっとひろば」の設置や「Book Street」の設置などの新しい取組によって貸出冊数が増加(前年度比約 1.7 倍)したことは、成果の一つである。今後は、各教科・各領域と連携し、教育活動全体を通して読書に対する意識を高め、生徒が主体的に読書活動を行えるよう努めていく。

